

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年4月1日

事業所名：心身障がい福祉センター（医療型児童発達支援）にこここ園

保護者等数（児童数） 22名

回収数 17

割合 77.3%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	3	1	0	子どもの数が多いため部屋が狭くのびのびと過ごすことが難しかった。	人数が多くなる場合は椅子や道具などの置き方を工夫し安全に配慮しながら使用していきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	4	1	1	親の要望とズレていたり、年度などのタイミングで継続性がとぎれてしまうことがある。	年度で担任、担当が変更になる場合には丁寧な引継ぎを行います。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	4	0	0		
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12	4	1	0	・床にマットが敷いてあり、よだれや食べこぼしを吸収しているように見える。 ・たまにほこりが隅の方に落ちて子どもが触ってしまっている。 ・建物自体がかなり古くトイレからの悪臭がひどく体調が悪くなる。	毎日、通園終了後掃除消毒をして衛生面には配慮しておりますが、今後も気をつけていきます。 次年度以降、随時センター内のトイレ改修工事が予定されております。
適切な 支援の 提供	⑤ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	16	0	0	1		
	⑥ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15	1	0	1	単独だがりハビリ以外で時間をとられることが多い。5歳児（単独）になったら学習会等の参加は必要ないと思う。働いている保護者ももっと大変だと思う。	5歳児は進路や就学に向けて学習会等を設定し、小学校への引継ぎ準備や確認しています。今年度は親子通園日をなくし保護者の負担を減らしています。できるだけ保護者の負担を軽減できる方法を検討していきます。
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	0	0	0		
	⑧ 活動プログラムiiが固定化しないよう工夫されているか	16	0	0	1		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	4	9	0	・あいあい近隣との交流が増えるといい。 ・感染症もあり、なくても仕方ないと思っています。	回数は多くはありませんが、年間で計画的に予定をいれて、隣接する保育園のお子さんとの交流を設定しています。
	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	2	0	0		
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	16	0	0	1		
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ヘアレント・トレーニングiv等）が行われているか	14	2	0	1		

保護者への説明等	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができてきているか	16	1	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	0	0	1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	3	0	2		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	16	0	0	1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	2	0	2	HPなどをチェックできていない為なんともいえません。	園便りやクラス便りで行事や活動内容をお知らせしております。ホームページで業務に関する自己評価も公表しておりますので機会がありましたらご覧ください。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14	0	0	3		
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	1	0	1	・マニュアルがHPで見られたり、紙で配布していただくと助かる。	感染症の登園基準は毎年利用者の方に配布して周知しております。その他のマニュアルについても各部屋に掲示するなどしていますが、閲覧場所の周知に努めます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	0	0	1	・訓練の回数を少し増やしてほしい。休んでしまうと不安になる。	月に1回避難訓練をしていますが通園頻度が少ない学年は経験する頻度が少なくなります。日頃から防災についてお話しをしていきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	14	3	0	0	はい やや楽しみにしている どちらともいえない いいえ わからない	
	㉓	事業所の支援に満足しているか	12	4	1	0	はい やや満足している どちらともいえない いいえ わからない	・一般の事業所に比べて活動内容が限られるように思う。乾布摩擦はずっとする意味があるのか。 ・単独バスで行きと帰りのルートがまったく違い、変更に時間がかかった。 園では年齢毎のカリキュラム、保育内容を設定しています。活動の中で内容やねらいを丁寧に説明していきたいと思います。 単独バスは事前の試走を行い、ルートを決めています。職員とバス運転手との確認不足でした。丁寧な確認と迅速な対応をしていきます。

(注釈)

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせ実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。